

令和5年度 芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高校美術3（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰ・Ⅱの目標を発展させる。

- ・より専門的な技術、用法を用い、高度な作品を模索させ、描く楽しさ作る喜びを感じる事ができる。
- ・三年間の集大成として作品の主題についてテーマを自身で考えさせ、自主的な制作を行う。

2 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。制作した作品を考察している。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイディアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	画力を高めよう	<b>【絵画】【素描】</b> ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学ぶ。 ・人物クロッキー 人体のつくりを理解し線の強弱で表現する。 ・デッサン 構成力を含め、画面への配置のバランスを身につける。 ・風景画 遠近法や一点透視図法を使って空間を表現する。	○				a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 c:クロッキー、デッサンの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。	学習活動の様子 制作の様子 途中作品 ワークシート 各作品
		<b>【絵画】</b> ・パネルの下地剤の塗装 ・テーマは具象絵画(人物画)主題となるモチーフを選択する。 ・テクスチャーやマチエール、メディウムの使い方など、技法の説明をする。 ・スケールを使ってモチーフの構図を決め、エスキースする。 ・ヘラやパレットナイフなど筆以外の道具を使う。 ・モチーフを良く観察し感じた色をのせていく。 ・光の方向を意識し細部のディテールも描く。 ・お互いの作品を鑑賞しあう。	○	○	○	○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:油絵の具やアクリル絵の具、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 途中作品 ワークシート 作品

※令和3年度以前入学生用

2 学 期	展覧会を観に行こう	<p><b>【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中に開催している展覧会、もしくは街中に設置してある作品を発見し鑑賞する。</li> <li>・鑑賞した作品から、表現の特徴や工夫について調べまとめる。</li> <li>・相互鑑賞 プレゼンテーション</li> </ul>	○			○	<p>a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。</p> <p>d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。</p>	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	自由なテーマで大作に挑戦しよう	<p><b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。</li> <li>・主題を基に構想を練る。</li> <li>・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。</li> <li>・主題を追及し、表現を深める。</li> <li>・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。</li> </ul>	○	○		○	<p>a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。</p> <p>d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。</p>	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

※令和3年度以前入学生用

3学期	作品集をつくる	<b>【デザイン】</b>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生活を振り返り、これまで制作した作品集を作る。</li> <li>・参考作品の鑑賞。制作手順の説明。</li> <li>・デザインのエスキース、制作。</li> <li>・鑑賞(自己評価、鑑賞カードの記入)、合評で自分の作品について苦労点やポイントを発表し相互批評しデザインを投票で選出する。</li> </ul>	○		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。</li> <li>b: 条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。</li> <li>c: 画材の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。</li> <li>d: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている</li> </ul>

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度      b:発想や構想の能力  
c:創造的な技能      d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。